



平成31年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年12月11日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東  
 コード番号 2438 URL <https://www.asukanet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 松尾 雄司  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第2四半期の業績(平成30年5月1日～平成30年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第2四半期	2,912	4.5	306	10.4	310	9.2	211	7.7
30年4月期第2四半期	2,787	11.2	277	△11.2	284	△9.5	195	△8.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年4月期第2四半期	12.54		12.53					
30年4月期第2四半期	11.69		11.64					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年4月期第2四半期	5,701	5,046	88.5
30年4月期	5,715	5,000	87.4

(参考) 自己資本 31年4月期第2四半期 5,046百万円 30年4月期 4,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年4月期	—	0.00	—	—	—
31年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,111	3.5	806	2.2	811	1.9	567	1.8	33.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年4月期2Q	17,464,000株	30年4月期	17,464,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年4月期2Q	622,941株	30年4月期	662,541株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年4月期2Q	16,831,830株	30年4月期2Q	16,764,011株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料 4 ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、安定した企業収益や雇用環境が継続しており、緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国の保護主義的な政策による世界経済の下振れリスクなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等画像映像のデジタル加工や通信出力サービスを主に提供するメモリアルデザインサービス事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業という、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上を含んでおります。

#### (メモリアルデザインサービス事業)

当事業におきましては、主力である遺影写真加工収入は、若干想定を下回ったものの、前年同期実績を上回りました。動画関連サービスやサブライム品、額の売上が好調に推移するとともに、エアリアルイメージング事業とのコラボ製品である「飛鳥焼香台」の売上も増加しました。また、フューネラルビジネスフェアやエンディング産業展などの展示会に出展したほか、葬儀市場にITテクノロジーを活用した「葬テック」の一つとしてリリースしております「tsunagoo」にお悔やみ電報を注文できる機能を加え、葬儀社向けに導入を促進してまいりました。

一方、利益面につきましては、画像処理部門の人員増に伴い人件費が増加し、また昨年秋以降の運賃の値上げにより発送配達費が増加したため、セグメント利益は減少しました。

その結果、売上高は1,202,667千円（前年同四半期比102.7%）、セグメント利益は302,937千円（前年同四半期比93.2%）となりました。

#### (パーソナルパブリッシングサービス事業)

当事業では、プロフェッショナル写真家向け市場は「アスカブック」、一般消費者向け市場は「マイブック」ブランドで展開しております。また、スマートフォンで撮影された写真からフォトブックや写真プリントをOEM供給しております。

プロフェッショナル写真家向け市場では、自社営業による契約獲得や製品提案に加え、全国11箇所でのASUKABOOKセミナーの実施や新製品のリリース、デザインテンプレートの拡充などの施策により、プロフェッショナル写真家向け売上は順調に推移いたしました。また、「赤ちゃん等身大フォト」の浸透にむけて、フォトアワードの開催やイベントへの出展、等身大フォトの日記念キャンペーンなどを実施してまいりました。

一般消費者向け市場では、効率的なネット広告や各種キャンペーンの実施、SNSの活用などにより写真愛好家層やこだわり層を中心に訴求してまいりました。また、本年9月には要望の高かったページが平らに開くフルフラットタイプの新製品を投入し、好調な立ち上がりとなっております。しかし、競争環境が厳しい中、マイブックの売上は前年同期実績を下回りました。OEM供給に関しましては、サービスの浸透が進み、売上は順調に増加いたしました。

利益面につきましては、昨年秋以降の運賃値上げや人件費の増加などコスト上昇要因があったものの、売上増加に伴い稼働率が回復したことなどにより、セグメント利益は順調に増加いたしました。

その結果、売上高は1,650,131千円（前年同四半期比105.8%）、セグメント利益は362,744千円（前年同四半期比106.7%）となりました。

## (エアリアルイメージング事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、平成23年3月に開始した事業であり、独自技術により空中結像を可能にする「ASKA3Dプレート」について、ガラス製、樹脂製それぞれ開発、製造、販売しております。

ガラス製ASKA3Dプレートにつきましては、依然として十分なコストダウンは図れておりませんが、高品質な大型プレートを供給しており、小ロットではありますが、サイネージ目的や開発目的での販売を行っております。また、メモリアルデザインサービス事業とのコラボレーション企画製品である「飛鳥焼香台」向けのプレート供給も行っていました。

樹脂製ASKA3Dプレートにつきましては、平成30年6月より第一弾のサンプル品を供給開始し、ガラス製プレートの購入先や展示会等で引き合いのあった先を中心に販売してまいりました。また、サンプル供給と並行して、少しでもガラス製プレートのクオリティに近づけるべく、金型の改良や製法の改善等の施策を実行した結果、10月に輝度や空中結像品質が大幅に向上したバージョンアップ版の開発に成功いたしました。現在は、量産ステージにステップアップすべく、品質の安定や歩留まりの向上を目指した量産試作を進めております。

マーケティング面につきましては、11月に深センで開催されました「C-Touch & Display Shenzhen」にバージョンアップした樹脂製ASKA3Dプレートを出展し、触らないタッチパネルとして製品組込用途での高い評価を受けました。サンプル提供に合わせて量産受注に向けた営業フォローを行ってまいります。また、12月に開催される国内展示会「ファインテックジャパン」および「SEMICON Japan」の出展にむけて準備を進めております。

費用面では、樹脂製ASKA3Dプレートの品質向上に向けた研究開発を集中的に実施した結果、試作や金型費用等の研究開発費が増加し、人員増強に伴う人件費や海外を中心とした旅費交通費も増加いたしました。一方、前年同期に比べ展示会の出展回数を減らしたため広告宣伝費は減少いたしました。

その結果、売上高は67,794千円（前年同四半期比115.0%）、セグメント損失は117,278千円（前年同四半期は149,960千円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、各事業において増加し2,912,273千円（前年同四半期比104.5%）となりました。利益面につきましては、メモリアルデザインサービス事業におきまして減益となったものの、パーソナルパブリッシングサービス事業においてセグメント利益が順調に伸長したことや、エアリアルイメージング事業において損失幅が縮小したため、経常利益は310,520千円（前年同四半期比109.2%）、四半期純利益は211,057千円（前年同四半期比107.7%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ14,012千円減少し、5,701,885千円となりました。これは主に、本社隣地購入等により有形固定資産が427,862千円増加した一方で、その支払いを手元資金で賄ったため現金及び預金が492,941千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ60,677千円減少し、655,206千円となりました。これは主に、未払法人税等が23,600千円、未払金が32,213千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ46,665千円増加し、5,046,679千円となりました。これは主に、四半期純利益を211,057千円計上した一方で、剰余金の配当による減少168,014千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ492,941千円減少し、1,213,839千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、261,551千円（前年同四半期は241,517千円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益310,147千円、減価償却費141,966千円を計上した一方、法人税等の支払額122,746千円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、595,410千円（前年同四半期は116,699千円の使用）となりました。これは主に、本社隣地購入や新社屋建設の手付金など有形固定資産の取得538,474千円、ソフトウェアの取得など無形固定資産の取得53,410千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、159,995千円（前年同四半期は161,556千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払167,362千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月11日に発表いたしました平成31年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,311,781	1,818,839
受取手形及び売掛金	726,531	769,011
商品及び製品	191,123	201,427
仕掛品	14,325	21,300
原材料及び貯蔵品	62,206	62,282
その他	33,559	28,826
貸倒引当金	△2,617	△3,126
流動資産合計	3,336,909	2,898,560
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	512,558	523,899
機械及び装置(純額)	396,538	461,889
土地	611,507	844,060
その他(純額)	172,702	291,318
有形固定資産合計	1,693,306	2,121,168
無形固定資産	206,851	206,185
投資その他の資産	478,829	475,970
固定資産合計	2,378,988	2,803,324
資産合計	5,715,897	5,701,885
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,270	134,493
未払法人税等	137,900	114,300
賞与引当金	136,500	142,200
その他	303,512	253,761
流動負債合計	704,183	644,754
固定負債		
退職給付引当金	6,482	6,182
その他	5,217	4,269
固定負債合計	11,700	10,451
負債合計	715,883	655,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	4,183,583	4,220,209
自己株式	△285,940	△268,850
株主資本合計	4,994,527	5,048,243
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,129	△1,564
評価・換算差額等合計	3,129	△1,564
新株予約権	2,356	—
純資産合計	5,000,014	5,046,679
負債純資産合計	5,715,897	5,701,885

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
売上高	2,787,097	2,912,273
売上原価	1,366,401	1,449,118
売上総利益	1,420,695	1,463,155
販売費及び一般管理費	1,142,996	1,156,587
営業利益	277,699	306,567
営業外収益		
受取利息	294	219
受取配当金	610	510
受取手数料	232	287
為替差益	736	938
保険金収入	3,991	832
未払配当金除斥益	825	950
その他	20	214
営業外収益合計	6,711	3,953
経常利益	284,411	310,520
特別損失		
固定資産除却損	550	373
特別損失合計	550	373
税引前四半期純利益	283,860	310,147
法人税等	87,928	99,089
四半期純利益	195,931	211,057

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	283,860	310,147
減価償却費	147,691	141,966
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,258	508
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,400	5,700
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	△299
受取利息及び受取配当金	△904	△729
為替差損益(△は益)	△135	△913
固定資産除却損	550	373
売上債権の増減額(△は増加)	△38,508	△42,479
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,014	△17,355
仕入債務の増減額(△は減少)	758	8,222
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,107	△14,608
その他	13,893	△7,048
小計	363,743	383,482
利息及び配当金の受取額	775	815
法人税等の支払額	△123,001	△122,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,517	261,551
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△355,000
定期預金の払戻による収入	5,000	355,000
有形固定資産の取得による支出	△83,792	△538,474
無形固定資産の取得による支出	△26,209	△53,410
貸付金の回収による収入	720	400
その他	△2,417	△3,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,699	△595,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△166,655	△167,362
自己株式の処分による収入	6,048	8,316
その他	△948	△948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,556	△159,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,602	△492,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,673,251	1,706,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,636,648	1,213,839

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス 事業	パーソナル パブリッシ ングサービ ス事業	エアリアル イメージジ ング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,170,660	1,559,640	56,797	2,787,097	—	2,787,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,160	2,160	△2,160	—
計	1,170,660	1,559,640	58,957	2,789,257	△2,160	2,787,097
セグメント利益 又は損失(△)	324,953	340,078	△149,960	515,071	△237,371	277,699

(注) 1 セグメント利益の調整額△237,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 平成30年5月1日 至 平成30年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス 事業	パーソナル パブリッシ ングサービ ス事業	エアリアル イメージジ ング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,202,667	1,650,131	59,474	2,912,273	—	2,912,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	8,320	8,320	△8,320	—
計	1,202,667	1,650,131	67,794	2,920,593	△8,320	2,912,273
セグメント利益 又は損失(△)	302,937	362,744	△117,278	548,403	△241,835	306,567

(注) 1 セグメント利益の調整額△241,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。